

令和3年度

上勝中学校 「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

○すべての生徒が「わかる」「できる」と感じることができる授業の実践
○認め合い、話し合い、学び合う授業の実践

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員
教務主任 研修主任 春木 幸恵	校長 倉橋 誠一 教頭 吉岡 博文 1年担任 川口 紗季 2年担任 入口 稔己 3年担任 濱 文和

校長

倉橋 誠一

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○全般的に素直で前向きで、何事にも真面目に取り組むことができる。 ●実力テストなどの出題範囲が広いテストでは、定期テストと比べ正答率が下がる。	・授業に真面目に取り組み、基礎的・基本的な知識・技能を習得することができる。 ・知識・技能の定着を図るため、家庭学習及びテスト前の学習に計画的に取り組むことができる。	・教科書の重要語句や問題提起部分にアンダーラインや○で囲ませる。 ・単元終了時に課題を明らかにし、すべての生徒が課題を提出できるよう支援を行う。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業中に進んで発表し、課題に意欲的に取り組むことができる。 ○生徒数が少ないため、学校生活の中で一人一人が活躍する場面が多い。 ●思考力や長文での記述を必要とする問題では、他の問題と比べ正答率が下がる。	・自分の考えを、根拠や理由を明確にしながらか説明したり、書いたりして伝えることができる。 ・各授業における課題に対する話し合い活動を通して、解決する方法を考えることができる。	・毎日テーマを決めて、自分の考えや意見を生活記録に書かせ(3文以上)、コメントを書いて返す。 ・終学活で1分間スピーチを実施する。 ・生徒の発言や発表の内容に応じ、「なぜ」、「どうして」などの更なる発問を行い、生徒の考えを深めさせる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○ノーチャイム着席、朝の自習、エクストラスタディーズなど、基本的な学習規律を守って主体的に学習に取り組むことができる。 ●すべての生徒が、課題を期限内に提出することはできていない。	・各教科の学習に主体的に取り組むことができる。 ・自分の学習の状況をしっかりと振り返り、自らの課題を解決できるよう計画を立て、実践することができる。	・「とくしま授業技術の基礎・基本」にあるICT活用を実践する。 ・「何を」「どのように学ぶのか」が生徒に伝わるよう、「授業のめあて」「学習の流れ」を提示する。 ・振り返りの視点を生徒に示し、時間を確保する。			

令和3年度 学力向上ロードマップ

